全国協議会ニュース

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005　東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL. (03)3356-8217
FAX. (03)3356-8637
発行責任者:品川 保弘
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

15周年記念事業『いのちの輝き展』全国を巡回中

5月の三重の全国大会の会場を皮切りに、全国協議会15周年記念事業「いのちの輝き展」が各地で開催されています。

これまでも感動を呼んでいた「あやちゃんの贈り物」「マモのメッセージ」「患者とドナーのお手紙」に「著名人からのメッセージ」を加え、全国展開しております。それぞれの作品に込められた、〝生きたい〟という強い気持ち「いのちの輝き」がたくさんの方の胸に届いています。

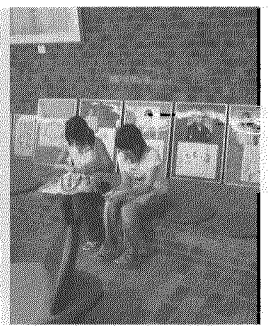
もっとたくさんの方に見ていただけるよう、今後も開催企画を募っていきます。来年5月に開催する千葉の全国大会までの間、全国あまねく旅を続けていく作品たちに多くの方が出会えるよう、各地のボランティアの皆様のご協力をお願いします。

●岐阜

猛暑の続く8月6日、あじさい看護福祉専門学校に於いて、学校祭「あじさいフェスティバル」が開催されました。浴衣姿や、ハッピ姿それぞれに、凝った衣装の学生さん達で賑わう中、「いのちの輝き展」を実施致しました。

昨年同様、献血併行登録会を行いました。担当の催しの合間に多くの方が詰め掛けて下さり、模擬店では美味しいものを頂くコーナーも大盛況でした。

当日は、オープンキャンパスで学校見学の高校生やご家族の姿も多く見受けられました。展示パネルを熱心に眺めながら、白血病についての問い掛けや、「18歳から登録出来ることを知りました。是非ドナー登録に参加をします」と、チャンスを手にしてくれた方もあり、交流の輪が一段と広がりました。（中野）



●福岡

リボンの会は7／27～8／2の一週間、南区西鉄高宮アミカスギャラリーで「いのちの輝き展」を開催しました。8才にも満たず白血病で逝った三瓶彩子ちゃんの絵画、17才で病魔と闘い、病床で自らを励まし続けて書き綴った小野寺守君の「心のメッセージ」、患者さんとドナーさんのお手紙、著名人のパネル展は観る人に命の尊さ、生きる素晴らしさを訴え深い感動を与えてくれました。

最初は「火火」の上映会場で開催する予定を変更したため、お手伝いの人の確保に苦労はあったものの、配布物を手渡しながら会話する出会いの中で、やって良かったとの充実感を実感できました。パネル展単独では来場者が少なく工夫が必要でした。（宮地）

「いのちの輝き展」今後の開催予定個所

開催日	場所	
2005/9/4	愛媛県松山市	松山市総合コミュニティーセンター
2005/9/4	山口県光市	2005ふれあい健康フェスティバル
2005/9/16～9/24	静岡県富士市	富士市ロセレアター／富士市役所
2005/9/17～9/11	宮崎県都城市	
2005/9/17～9/25	山形県山形市	ジャスコ山形南店
2005/9/19～10/2	静岡県島田市	島田市おおるり
2005/9/23～9/26	東京都千代田区	東京国際フォーラム『素晴らしき贈りもの』
2005/10/1	栃木県佐野市	佐野市文化会館小ホール
2005/10/2	鹿児島県	
2005/10/9～10/10	福岡県福岡市	

15周年記念事業協賛金・協賛品
（7月21日～8月20日）

ノバルティス ファーマ株式会社　200,000円
（敬称略）

企業、団体のほか、個人の皆様からの協賛も募っております。ご協力、よろしくお願いいたします。

ドナー登録年齢引き上げ
54歳まで登録、55歳まで提供に!

9月1日よりドナー登録要件の見直しにより、登録年齢が引き上げられ、54歳まで登録受付を行い、55歳まで骨髄提供が出来ることになりました。

ただ、年齢要件見直しについては、まだ課題も残されていますので、あえて問題提起をさせて頂きます。

置き去りにされた課題

今年に入って二度にわたり登録、提供に関する年齢要件が変更になり、これで一応、この問題に関する長年の議論に整理が付いたことは喜ばしいことではあります。しかし、ここで二つの大きな課題が積み残し又は解決を先送りにされたことを残念に思います。

一点目は、登録年齢上限ぎりぎりの方への対応の問題です。登録と検索、コーディネイト開始の関係は、従前の上限50歳のときにも登録受付現場で混乱を生じ長く解決が望まれていたものの、今回、せっかく見直しのチャンスであったにもかかわらず解決が図られませんでした。結局はこれまで同様、地区普及広報委員や説明員にその対応を委ねることになっています。

二点目は、30万人達成の最終年次や年ごとの目標数値、それを達成するための財源、組織、広報プランなど全体プロセスが今回も明示されなかったことです。また、今回の見直しによって年間何人の登録者増が見込まれるのか、それによって30万人達成は何年早まるのかなども一切示されませんでした。今後も日本骨髄バンクは基本目標に30万人ドナー登録の早期達成を掲げながらも、計画性のないまま「今年は××人増えました」という結果だけに一喜一憂する場当たりの活動で良しとするのでしょうか。

骨髄バンクの未来は明るいですか。患者にとって信頼できる社会システムですか。（畠山）

全国協議会では、登録年齢引き上げの該当者となる方々にアンケートを実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

緊急アンケート!　ドナー「定年者」100人に聞きました!!
「年令引き上げにあたっての私の想い!」

対象者　51歳～54歳までのドナー登録経験者
締切　9月19日（月）17：00
回答方法　全国協議会事務局にFAX　もしくは　Eメール
FAX 03-3356-8637　e-mail：office@marrow.or.jp
※ご回答頂いた方の中から抽選で10名にお礼（テレカ・書籍等）を差し上げます。

以下の質問にお答えください。

Q1. もう一度登録しますか？　YES　NO
Q2. この日をどのような気持ちで迎えられましたか？（自由記述）
Q3. 定年までの登録期間は何年でしたか？　年
Q4. その間に提供に至りましたか？　YES　NO
Q5. 定年通告を受けたときのお気持ちは？（自由記述）
◇その他（ぜひ伝えたいことがあれば・・・）

回答者　氏名：　Eメール：
連絡先　〒
TEL：　FAX：
ご協力ありがとうございました。

個人情報の取り扱いについて
アンケートにご回答いただきました方の住所・氏名・電話番号及びe-mailアドレスなどの個人情報については、次に記載する目的のためだけに利用させていただきます。アンケート等の結果の分析のため　アンケートに対する謝礼等をお送りするため

市民フォーラム「素晴らしき贈りもの」にぜひご参加下さい

全国協議会と日本移植者協議会が、一般市民に向けて移植への理解を深めて頂くことを目的に市民フォーラムが開催します。まだ参加者枠に余裕がございますので、ぜひお申し込みください。

日時　9月25日（日）
13時30分～16時30分
会場　東京国際フォーラム
B棟7

内容
第1部　骨髄移植を行ったレシピエントとドナー、臓器移植を行ったレシピエントとドナー家族がトークリレー
第2部　狂言　出演　茂山千作氏（人間国宝）、茂山千三郎氏
鼎談　茂山千作氏（狂言師）・北野大氏（淑徳大学教授）・駒村多恵氏（フリーキャスター）
併催事業：東京国際フォーラムロビーギャラリー「素晴らしき贈り物」
（臓器移植を受けた子どもたちの作品展「ギフトオブライフ」と「いのちの輝き展」）

●ハガキでの申し込み
記入項目：氏名、住所、電話番号、参加人数（1名または2名）
宛先：〒102-0081　東京都千代田区四番町3　四番町ハイツ5F
市民フォーラム実行委員会事務局宛

●ウェブサイトでの申し込み
専用ウェブサイト：http://www.you-and-i.net

第53回　理事会報告

8月21日
全国協議会事務局

〈7月会計報告〉

〈協議事項〉
●名義後援、承認案件
●理事会運営関連
●会員制度見直しについて
●15周年記念事業進捗状況
●財団への委員派遣について
●ドナー登録年齢上限拡大を上手にアピールしてドナー登録推進に結びつけられないだろうか？
●理事会役割分担について
●年賀はがき寄付金助成による事業
●10／2移植推進銀座街頭活動について
●財団への要望書提出について
●厚労省研究班への参加協力について
●白血病フリーダイヤル運営について

〈報告事項〉
●財団常任理事会報告
●パンフレット「ご案内」更新について
●NMDP年次総会参加について

三菱ウェルファーマ株式会社
http://www.m-pharma.co.jp
創薬力

骨髄バンクの最新情報をお知らせする　骨髄バンクNOW

●ドナー登録者現在数21万人、累計27万人を突破!

7月のドナー登録者数が2800人以上に達したことにより、7月末の現在数が21万人を突破し、累計数も27万人を超えました。単月数字では、平成14年1月からの過去3年7カ月の中では、昨年10月（2949人）に次ぐ登録者数となっています。

その背景には、井原正巳氏を起用した公共広告機構のキャンペーン効果があります。井原氏が登場した7月の問い合わせは2875件と6月の3.3倍に上り、内訳は電話（時間外録音を含む）の問い合わせが6.5倍（1516件）、インターネットやモバイルによる問い合わせが2.1倍（1359件）となって、こうした問い合わせが登録に直結しているといえます。

●「チャンス」の改訂で、登録申込書を中綴じ込みに

従来の「チャンス」は、4地域版となっていましたが、9月発行の改訂版では全国統一版となり、「ドナー登録をされる方へ」の説明書と、「骨髄バンクドナー登録申込書」及び記入方法（変形判）がグリーン系の紙に印刷されて中央に綴じ込まれます。この「骨髄バンクドナー登録申込書」は切取線に沿って切り取り、受け付け窓口に提出できるようになっています。

さらに、9月から財団ホームページの「チャンス」が衣替えとなりました。このチャンスを最後までよく読み、ご理解された方は「骨髄バンクドナー登録申込書」の用紙をプリントアウトできます。A4判の白紙（色紙は不可）に申込書用紙を印刷し、所定項目を記入して署名のうえ受け付け窓口に提出すると、登録手続き（2mℓの採血）に進むことができます。

●三井住友海上火災が「所得補償保険」を改定、骨髄提供を補償対象に

三井住友海上火災保険株式会社（本社・東京）は、10月1日から所得補償保険、所得特約について補償内容を拡大します。損害保険業界では初めてになります。

これは、骨髄採取手術を目的とした入院の場合、従来のけがや病気による休業に加えて補償対象とするものです。具体的には、骨髄採取のために入院した日数に健康診断などの諸手続きに要する4日間をプラスした日数に対して保険金を支払います。補償拡大に伴う追加保険料は不要で、新たに加入する場合は1年経過後に適用されます。

●日本骨髄バンクの現状（2005年7月末現在）

	6月	7月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,966	2,825	211,910	271,355
患者登録者数	156	170	2,965	18,754
骨髄移植例数	94	85	－	6,642
20歳未満ドナー	114	167	616	－

注）数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

各地のたより

各地のたよりを写真を添えてお寄せください。

秋田　ゴルフで活動を応援

今年は7月18日。毎年、海の日に行われる恒例の、「第11回骨髄バンクチャリティゴルフ大会」が秋田カントリー倶楽部にて開催されました。今年はなかなか梅雨が明けなかったのですが、心配された天候も当日はどうにか晴れて、ボランティアで来てくれたスタッフの間で「自分が晴れ女」との主張合戦でスタートしました。

参加者77名、25の企業、団体、個人からの協賛を頂き、盛会のうちに終了しました。終了後行われた授賞式では、優勝者の升屋様から「毎年、海の日に行われる骨髄バンクのコンペを、いつも楽しみにしています。来年もスケジュールを空けて待っていますので、是非参加させて下さい」と、涙が出る程嬉しいメッセージを頂きました。

参加費が誰かの役に立つという事を喜んで参加し、応援して下さる方々に支えられている事を忘れずに、これからも活動して行きたいと思います。（菅）

優勝者の升屋さん

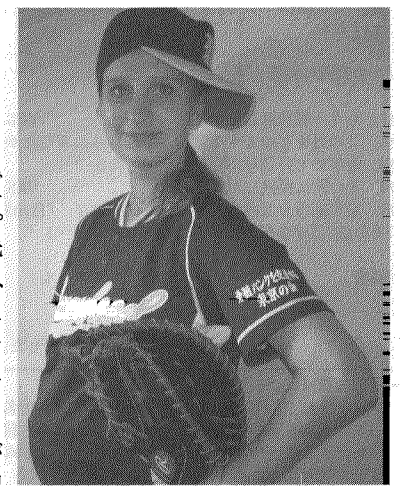
沖縄　夏の一泊定例会

沖縄県骨髄バンクを支援する会、夏恒例の一泊定例会を8月6日に県北部の宜野座村にて行いました。

毎月の定例会は那覇市にある血液センターで行っているので、遠い北部に住んでいる会員には大変不便をかけています。そこで会員の親睦も兼ね、毎年中部や北部での一泊研修を行っています。家族はもちろん友人連れも歓迎しています。その日はおいしいバーベキューに、大人はビール、泡盛片手に夜遅くまで話が弾み、子供達は花火やゲームなどで遊びます。10年以上も続けていますと、かつて幼かった子がやがて20歳になり、骨髄バンクに登録し、そして提供というケースも出てきました。参加費は安くしてあり、毎回かなりの赤字になりますが会の活性化の為にも今後も続けていきたいと思っています。

この日の定例会の議題の一つは、県から依頼された高校における献血教室での受血者（輸血を受けた方）体験発表者を決めることでした。昨年度は登録会での説明員の東恩納美恵子さんが一手に引き受け頑張ってきましたが、今年度はもっと献血教室が増えるとのことで、この日参加した3人の若い元患者さん達が交代で務めることに決まりました。

また、12月19日～22日までの4日間、県庁1階ロビーでの献血併行骨髄バンク登録会で「いのちの輝き展」と「県内の患者さん体験パネル展」等を開催することも決まりました。今年も充実した一泊定例会でした。（上江洲）


9月後半に新メンバーを出産予定のユルギタさん

東京　草野球でPR

新宿西口のとある居酒屋で、野球チームが産声をあげました。メンバーはここの従業員とお客さんで、この日の定例会の議題の一つは、県から依頼された高校における献血教室での受血者（輸血を受けた方）体験発表者を決めることでした。昨年度は登録会での説明員の東恩納美恵子さんが一手に引き受け頑張ってきましたが、今年度はもっと献血教室が増えるとのことで、この日参加した3人の若い元患者さん達が交代で務めることに決まりました。

また、12月19日～22日までの4日間、県庁1階ロビーでの献血併行骨髄バンク登録会で「いのちの輝き展」と「県内の患者さん体験パネル展」等を開催することも決まりました。今年も充実した一泊定例会でした。（上江洲）

長崎　イオンでの登録会

長崎県骨髄バンク推進連絡会議では8月21日にイオン大村ジャスコ店で登録会を開催しました。

大村ジャスコでの登録会は毎年この時期に行われ、20人以上の方が登録してくれます。当日はあいにくの雨模様でしたが、沢山の方が訪れました。登録年齢下限が18歳に引き下げられたおかげかいつもより多い40人の方が登録してくれました。長崎県において骨髄バンクの知名度は低いですが、今後各地での登録会で骨髄バンクの必要性を訴えていきたいと思います。（平塚）

新理事紹介

8月号に続き、新理事に紹介をかねて抱負を語って頂きます。

川瀬和子

7年程前、ふらりと立ち寄った店にあった「静岡骨髄バンクだより」に推進月間「マモのメッセージ展」開催の記事が載っていました。何かに導かれるように翌日にはマモ展へ、その翌月には定例会に出席、そしてドナー登録も。私にも出来る事があれば何かお手伝いをしたいと、精一杯活動してきました。

お役に立てたかどうか分かりませんが、この3年間は静岡の事務局長を務めさせていただき、現在も活動のきっかけとなった「バンクだより」の作成（16号から60号）、学校等への出前授業、街頭や献血会場での広報活動等様々な活動を続けています。

このたび理事にしていただき、微力な私ですが、出来る限り頑張りたいと決意を新たにしております。どうぞ宜しくお願い致します。

関口隆

はじめまして　この度全国協議会にお世話になることとなりました、埼玉の関口隆です。今年不惑の40となりました。

私と骨髄バンクの出会いは、1995年の青年会議所の事業がきっかけでした。以来ドナー登録のためのお手伝いをさせていただきながら、多くの患者さんと知り合う機会を得ました。

真っ暗闇の中から一筋の光を見つけるがごとくバンクから移植を受け元気になった患者さん、まだ見ぬ大きな夢を胸に秘めながら志なかばで天国に旅立った患者さん、いまだにドナーが見つからず不安を抱えながら日々精一杯闘っている患者さん。

私は、バンク事業のお手伝いをさせてもらうことで一人でも多くの患者さんが明日への希望を持ってくれればこれ以上の喜びはありません。

大変微力ではありますが、皆さんに面倒みてもらいながら自分らしく一生懸命頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします！

中津和美

今年の始め突然、近畿加盟団体から「理事として東京へ……」とのお話しがありました。私としては「とんでもない！」と、お断りをしていたのですが「各団体が持ち回りで意見をいうのもいいかも……」とのご意見をお聞きし、全国の動きを勉強するのもいいのではと、自分なりの結論を出しました。

私が、バンク運動に参加して8年目、最初はなりふりかまわず場所も選ばず啓発してきましたが、あれから時が流れ啓発にも工夫をしています。しかし決して忘れてはならない事、それは「誰の為にやるのか？」「ひとりでも多くの患者さんに元気になってほしい」という原点を、忘れないということです。地域の温度差もあり、意見交換が難しい時もあるかと思いますが、地元の声を上げて行きたいと思います。

心からのご寄付に感謝申し上げます

7月21日～8月20日

㈱タクトコーポレーション	現金	30,000円
相場由美子	現金	5,000円
赤木隆子	現金	20,000円
徳田ひろみ	現金	1,620円
塩谷 圭	現金	1,000円
匿名	現金	7,277円
村上晴美	現金	31円
寺下智子	現金	3,000円
吉本哲也	現金	1,000円
中村重美	現金	100,000円
飯島孝枝	現金	1,000円
切明 蹊	現金	5,000円
竹島 香	現金	50,000円
●佐藤きち子患者支援基金		
切明 蹊	現金	5,000円
飯島孝枝	現金	1,000円
匿名	現金	4,000円
佐賀康悦	現金	3,000円
●白血病患者支援基金・募金箱		
小野塚照直	現金	5,000円
山形庶民信用組合天童支店	現金	5,355円

（敬称略）

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行　新宿通支店
普通　5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

リレー紹介　ボランティアの仲間たち

清水邦生・美佳さん（宮崎）の巻

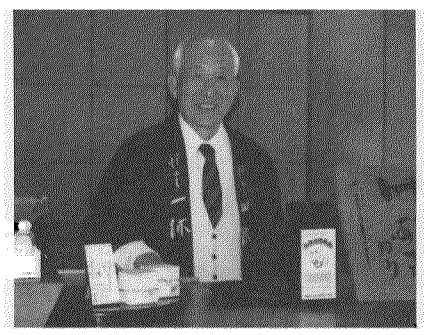
みやざき骨髄バンク推進連絡会議の名物「バンク号」といっても清水夫妻の愛車です。ご主人が「車を買い換えたい」と言い出し、車を見て奥さんも「バンクの活動で使えそー」と即OK。その言葉通り登録会の時は、手作りの文字入りバンク号に色直ししてでかけます。雨の日は車の中が説明会場。ボディーにはたくさんの宣伝物をつけ大活躍です。

清水夫妻はこの会には欠かせないメンバーで、奥様は平日の登録会からフルに参加してくれています。ご主人は、遠出の時（先日も熊本まで）、仲間を乗せ往復の運転手。1台の車で移動できるので、車の中のにぎやかなこと。邦さん、美佳ちゃん、バンク号……私たちにとってなくてはならない存在です。これからも楽しく活動していこうね。（福田）

こんにちは募金箱　その16

天山（神奈川県箱根町）

箱根湯本滝通り、川沿いの道を15分程歩くと湯治郷「天山」があります。自然に囲まれたなかに総ひのき風呂の「一休」があります。

箱根の美しい緑をながめながら湯につかると、日常のもろもろから開放され、みな穏やかな顔で時を過ごし「あーひとつの極楽じゃ」と感じました。ここの受付の窪島さん（写真の男性）の笑顔も素敵です。そして、窪島さんと一緒に募金箱があります。皆様も箱根にお寄りの際は、「あー極楽じゃ」の時間を過ごされてはいかがでしょうか。

また、この天山の中のおみやげ店、料理店等5ヶ所に募金箱を設置していただいております。それはまたいずれお知らせします。（大橋）